

令和4年5月12日

報道関係者各位
Press Release

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

初の「全国・分散型キャンプ大会」として展開
第18回日本スカウトジャンボリーを開催

ボーイスカウト日本連盟（東京都杉並区、理事長・水野正人）は、2022年の夏休み期間に、東京をはじめ全国47都道府県において「第18回日本スカウトジャンボリー（18NSJ）」を分散型で開催します。

本年はボーイスカウト日本連盟創立100周年にあたり、この事業は100周年記念大会として開催いたします。コロナ禍への対応として長距離の移動を伴わない分散型での開催となりますが、全国のスカウトたちがつながりを実感できるように、東京の会場から全国へ配信する「ジャンボリー大集会」を開催する他、インターネットを通じて全国のスカウト仲間と技術を競い合う「ジャンボリー日本一プログラム」など、従来のボーイスカウト運動から一歩踏みだした、最新の青少年教育のコンテンツを準備しています。また、全国各地の会場では特色のあるプログラムもあり、ボーイスカウトらしさを感じることができるアクティビティが満載です。

名称：第18回日本スカウトジャンボリー

会場：東京中央会場、サテライト会場、
県大会会場、
ジャンボリーサマー2022会場

参加者：約10,000人を想定（国内：全都道府県）

期間：

東京中央会場 8月5日～10日

宮城サテライト 8月5日～10日

茨城サテライト 8月5日～10日

埼玉サテライト 8月4日～9日

神奈川サテライト 8月5日～10日

熊本サテライト 8月4日～9日

ジャンボリーサマー2022開場 夏休み期間（7月中旬より8月末ごろ）に全国各地で開催



※写真は前回大会（17NSJ）より

上記期間は一部となります。詳しくは18NSJ大会公式サイト <https://18nsj.scout.or.jp/>

※取材が難しい場合は、イベント内容の報告、写真提供をさせていただきますのでご連絡ください。



参考資料

●ボーイスカウトとは

1907年にイギリスで始まったボーイスカウト運動は、今では世界172の国と地域、5,700万人以上が参加しています。野外活動を中心に、子どもたちの自発性を大切に、グループでの活動を通じて、自主性、協調性、社会性、たくましさやリーダーシップなどを育てていきます。そのプログラムはバラエティに富んでいて、各年代においてもさまざまです。

日本には団と言われる活動母体が全国に約2,000あり、子どもと大人をあわせて約8万人が活動しています。本年2022年は、ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念の年です。

●ボーイスカウトの構成

小学校1年生4月～ ビーバースカウト（就学直前の1月から仮入隊可能）

小学校3年生4月～ カブスカウト

小学校6年生4月～ ボーイスカウト

中学校3年生9月～ ベンチャースカウト

18歳～25歳 ローバースカウト



ビーバースカウト

カブスカウト

ボーイスカウト

ベンチャースカウト

ローバースカウト

●日本スカウトジャンボリーとは

ボーイスカウト日本連盟が主催する、日本国内におけるボーイスカウト最大の行事であり、国内最大級の規模を誇るキャンプ大会。1956(昭和31)年に長野県軽井沢で第1回が開催されて以来、2018(平成30)年に石川県珠洲市で開催された第17回日本スカウトジャンボリーまで4年に1回のペースで脈々とその歴史が引き継がれている。今回、コロナ禍の影響を考慮して中止・延期も検討されたが、オンライン技術を導入した「分散開催」形式をとることで、「4年に1度の祭典」開催の歴史をつなぐこととなりました。

この件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 ボーイスカウト日本連盟

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3

TEL 03-6913-6262 (代表) pr@scout.or.jp

